

技術・家庭科(家庭分野) 第1学年の学習内容とねらい

家庭科分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することをねらいとしている。

評価の観点・方法

①知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。 ・テスト ・作業への取り組み ・作品 ・レポート、ノートの内容 など
②思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・レポート、ノートの内容 ・作業の進め方 ・テスト など
③態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・作業の取り組み ・プリントの内容 ・レポート等の内容 など

月	学習する内容	学習のねらい
4	ガイダンス 自分の成長と家族・家庭生活	・小学校での学習を振り返り3年間の家庭科の授業内容を知る。 ・家族について考える ・自分の成長と家族の関係を考える。
5	衣服の選択と着用	・保健衛生面と社会生活面から衣服の役割を知り、目的に応じた着用の工夫ができるようにする。 ・自分らしさを表現する着方を考える。 ・衣服を計画的に活用することの必要性を理解し、適切な選択ができるようにする。
5	日常着の手入れと保管	・衣服の取り扱い表示の意味を理解し、適切な手入れ方法を選択することができる。 ・手入れの必要性と一般的な手入れ方法を知る。 まつり縫い、スナッパ付け ・家庭での洗濯実践を行う。
6	生活を豊かにする物の製作	・衣服の補修に必要な技能を用いて、エコバッグを製作する。
7		
8	持続可能な衣生活	・資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考える。
9	販売方法や支払い方法の特徴	・多様化した購入方法や支払い方法の特徴について理解する
9	消費者のトラブルを未然に対処する方法	・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解する
9	住まいのはたらきとこちよさ	・住まいの基本的な機能を理解し、快適な住まい方を工夫できるようにする。
10	安全な住まいで安心な暮らし	・家庭内事故の防ぎ方や、自然災害への備えとしての安全な住まい方の工夫ができるようにする。 ・室内の空気調節や騒音の防止の工夫ができるようにする。
	持続可能な住生活	・持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。

特色ある学習

・製作などの実習や実験、観察、調査・研究など、それぞれの特徴を生かした適切な実践的・体験的な学習活動を行います。
・生徒自らが課題を発見したり、意欲をもって追求したり、解決のための方策を探るなどの学習を繰り返していきます。
・針やミシンなどを取り扱って実習するため、安全管理に十分留意するとともに、自分や家族の生活をよりよくする方策を探るなどの学習を行います。

技術・家庭科(家庭分野) 第2学年の学習内容とねらい

家庭科分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することをねらいとしている。

評価の観点・方法

① 知識・技能 生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。 ・ベーパータスト ・学習プリント ・作品 ・行動観察 など ② 思考・判断・表現 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・学習プリント ・行動観察 ・実践レポート ・ベーパータスト など ③ 主体的に学習に取り組む態度 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・ポートフォリオ ・学習プリント ・レポート等 ・行動観察 など

月	学習する内容	学習のねらい
10	ごみを減量するには、どのような生活をしたらよいだろう	・家庭で出るごみの実物教材を使い減量する方法を考える。 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。
11	食事の役割と食習慣 中学生に必要な栄養素を満たす食事	・生活の中で食事が果たす役割や、健康と食事とのかわりについて知る。 ・栄養素の種類とはたらきを知り、中学生の時期の栄養の特徴について考える。 ・食品の栄養的特質を知る。
12	さまざまな食品とその選択	・生鮮食品と加工食品の特徴を知り、食品の用途に応じ適切に選択できるようにする。 ・食品の特徴、食品の表示、食品添加物の種類や用途を知り、食品の用途に応じ適切に選択できるようにする。 ・食事の役割や中学生の時期の食事の大切さについて確認しながら、自分の生活をふりかえり、自分の食生活をよりよいものにしていくためにはどうすればよいかを考える。
1	日常食の調理 ・魚の特性を生かした調理	・調理用具の正しい使い方を知り、安全に使うことができる。
2	肉の特性を生かした調理	・食生活の安全と衛生に留意し、食品や調理用具を適切に管理できる。
3	野菜の特性を生かした調理	・食品の調理上の性質を理解し、簡単な日常食の調理ができる。 ・環境や資源に配慮した調理作業ができる。 ・実習した調理を家庭でも実践・応用しようとする。
2	地域の食文化	・日本の食文化にかかわる行事食や郷土料理の意義が分かり、日常生活に生かす工夫ができる。 ・地域の食材を生かした調理ができる。

特色ある学習

- ・調理などの実習や実験、観察、調査・研究など、それぞれの特徴を生かした適切な実践的・体験的な学習活動を行います。
- ・生徒自らが課題を発見したり、意欲をもって追求したり、解決のための方策を探るなどの学習を繰り返し行います。
- ・包丁やガスなどを取り扱って実習するため、安全の保持に十分留意するとともに、家庭でも実践・応用できる学習を行います。

技術・家庭科(家庭分野) 第3学年の学習内容とねらい

家庭科分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することをねらいとしている。

評価の観点・方法

① 知識・技能

生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。

- ・ペーパーテスト
- ・学習プリント
- ・作品
- ・行動観察

など

② 思考・判断・表現

生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

- ・学習プリント
- ・行動観察
- ・実践レポート
- ・ペーパーテスト

など

③ 主体的に学習に取り組む態度

よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

- ・ポートフォリオ
- ・学習プリント
- ・レポート等
- ・行動観察

など

学習する内容		学習のねらい
4 分	幼児のころの今と自分	・自分の成長を振り返り、幼児期への関心を持つ
5	幼児の体の発達 幼児の心の発達	・幼児の身体の発育や運動機能を理解する ・言語・認知・情緒・社会性などの発達について理解する。
6	発達にとってのおとなの役割	・子どもが育つ環境としての家族や周囲のおとなの役割について理解する。
7	遊びが必要なわけ 遊びを支える環境	・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解する
9	ふれあい体験の前に	・幼児にとつて遊びは生活そのものであり、十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。
10	幼児とのふれあい	・幼児とのふれ合い体験について自分の課題を持ち、ふれ合うときの留意点を理解する。
11	ふれあい体験ふり返り	・幼児との関わり方について身につけた基礎的・基本的な知識を活用し、工夫する。
12	家庭生活と地域のかかわり	・家庭生活は地域との相互の関りで成り立っていることを理解する。 ・地域で活動する高齢者や、見守りが必要な高齢者を理解し関わり方を考える。
2	持続可能な家庭生活をめざして	・誰もが尊重される家庭・地域の生活を目指して、課題を見つけ、実践的に取り組む。

特色ある学習

- ・子どもの成長・幼児とのかかわりなどについて学習し、実際に幼児と一緒に遊ぶことで理解を深める活動を行います。
- ・高齢者学習に問題解決学習を取り入れ、高齢者との協力・協働について考える活動を行います。
- ・生徒自らが課題を発見したり、意欲をもって追求したり、解決のための方策を探るなどの学習を繰り返します。